

「リトル ライブ ペット ティアラ（動かない）」の修理

2021.11.13
生駒の田中

1. 特徴



- ・今回修理したのは、（株）ラングス ジャパンから発売されている電池で動くぬいぐるみ犬の「リトルライブペット マイドリーム パピー ティアラ」です。
- ・付属の哺乳瓶を口につけるとミルクを飲む動作と音、頭やお腹を撫でると鳴いたり、寝かせるといびきをかくなどリアルな動作をします。



「商品タグ」



2. 故障内容

- ・修理依頼の内容は、新しい電池を入れても全く動いたり鳴いたりしないということでした。

3. 故障の診断

3-1. 電池の確認

- ・電池は左右の後ろ足、それぞれに単四電池が二本ずつ入ります。
- ・確かに、左足の方の電池は新しいようで十分な電圧ができました。しかし、右足の方の電池は殆ど電圧は出ず切れていました。
- ・右足の方には電源スイッチがあり、ここにも電池ボックスが入ると気が付かなかったのかも知れません。



- ・この時点では電池切れが原因と思いましたが、四本とも新しい電池に換えても結果は同じく全く動きませんでした。
- ・更にスイッチの接触不良かとも疑い隙間から接点復活剤を入れて、ON/OFFを繰り返しても動きませんでした。

電源スイッチ
「ON/OFF」は機能あり
「TRY ME」は表示のみ



3-2. ぬいぐるみ内部の故障箇所の確認

- 内部の断線箇所などを調べることになると思いますが、ぬいぐるみを切り開かなければ出来ません。
- 最初から丸裸にすることは避けたかったので、何処かに接触不良や断線（半断線）箇所がないか電源をONにしたまま、ぬいぐるみの上から触診してみました。
- 幸運なことに！右足の付け根あたりに触ると一瞬ですが鳴き声が聞こえました。
ここは、電池ボックスの金具に配線がつながっているところでした。

4. 修理の方法

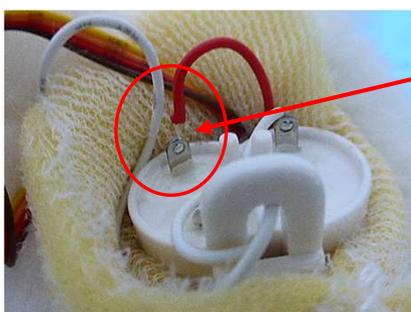
4-1. ぬいぐるみを開ける

- 先ずは、断線と思われる場所の近くに縫い目が無いか確認しました。
- 縫い目が見つかったらリッパーを使って糸を切っていきますが、切るのは中が確認出来る最小限に止めます。（今回は3~4cmにしました）



4-2. 断線部分を探し、修復する

- 電池端子の金具に半田づけされている赤い線が切れているのが、直ぐに見つかりました。
- この線を半田づけし、再度電源をONにすると鳴き声がして動作は正常になりました。
- 後は、ぬいぐるみの切り開いた箇所を縫い合わせて、修理は完了です。



断線箇所

4. 完成

- ぬいぐるみの切り開いた箇所を縫い合わせ修理は完了です。

「感想」

- このぬいぐるみは、頭部から足先まで部品や回路が組み込まれているので全身を分解して調べるのは大変ですが今回は触診により断線箇所が分かり簡単に直すことが出来ました！

